

ようしゅん

陽春だより

すべては生徒のために 笑顔あふれる学校

第 6号 令和2年10月15日(木)

川口市立芝西中学校陽春分校

〒332-0034

川口市並木1-26-1

TEL 048-497-1893

FAX 048-497-3981



「何ができるか」を考えて ～陽春分校の取り組み～

教頭 河合孝信

シルバーウィークが終わったあたりから、爽やかな秋の気配を感じるようになりました。「暑さ寒さも彼岸まで」とは良く言ったものです。このごろは、かなり冷え込む日も増えてきました。

コロナ禍の中で思うように授業や行事も進まず、この状況で何かできることはないか・・・と考えて、陽春分校では、次のような取り組みを行いました。

【陽春運動会(レクリエーション大会)】

10月2日に陽春運動会(レクリエーション大会)を行いました。紅白に分かれて、借り物競争・玉入れ・フットリレー・スプーンリレー・選抜リレーを行いました。体育の授業でも練習を重ね当日を向かえました。そこには、生徒たちの一生懸命取り組む姿があふれていました。明るい笑顔、声がかかるほどの熱い応援をする姿もあり、大成功でした。雨で一週間遅れでの開催でしたが、中秋の名月の翌日、満月が明るく、優しく照らしてくれていました。

【ゲストティーチャーを招いての授業①】

「日本文化」という授業の中で4コマ、4時間続けて剣道を行いました。続いて弓道連盟の高橋利夫様をゲストティーチャーとして招いて弓道の授業を行いました。外国籍の生徒は、弓を握るのが全員初めてでした。ご指導をいただきながら、弓を引く練習をしました。中には、大変筋のいい生徒もおり、講師から褒められ、楽しく取り組んでいました。今後も何回か続ける予定です。



【ゲストティーチャーを招いての授業②】

国際箸学会から小宮山栄様、後関実様をゲストティーチャーとしてお招きし、日本の伝統文化の一つである「箸」の話をしていただきました。その後、箸を使った箸ピーという競技を行いました。これは、ピーナツのレプリカを箸で挟んで移動させるゲームです。右手、左手各1分間で移動できた数の合計を競うものです(詳しくは「箸技」「箸ピー」で検索してみてください)。生徒の皆さんは、楽しみながらから、必死になって行っていました。慌てれば慌てるほどうまくいきません。毎日続けていると記録がどんどん伸びるという話を聞き、翌日から記録を伸ばそうと早く来て練習している生徒も出てきています。「箸ピー」での全国大会出場も考えています。



「できない」ということは簡単ですが、「何ができるか」を探し、今後も生徒の皆さんが「喜び」や「やりがい」を感じる授業や取り組みを行っていきたいと思います。